

# 平成23年度の決算

第3回町議会定例会（9月5日～10日）で平成23年度各会計の決算が認定されました。全会計の決算総額は、収入が68億8814万円、支出が66億9807万円となり、収入が支出を1億9007万円上回りました。

決算の概要について、一般会計を中心にお知らせします。

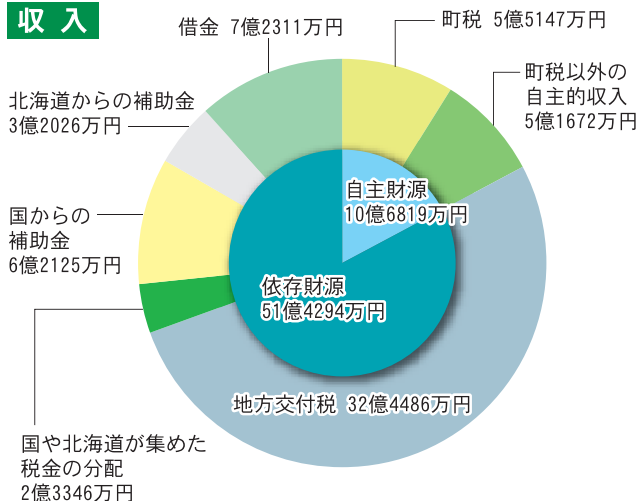
※詳細は『まちづくり読本』（決算説明書）に掲載しています。

## 平成23年度各会計決算額

会 計		収 入	支 出	収入－支出
一 般 会 計		62億1113万円	60億2111万円	1億9002万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	3億5364万円	3億5359万円	5万円
	後期高齢者医療特別会計	8355万円	8355万円	0円
	下水道事業特別会計	1億9228万円	1億9228万円	0円
	農業集落排水事業特別会計	4754万円	4754万円	0円
合 計		68億8814万円	66億9807万円	1億9007万円

## 一般会計の収入と支出の内訳

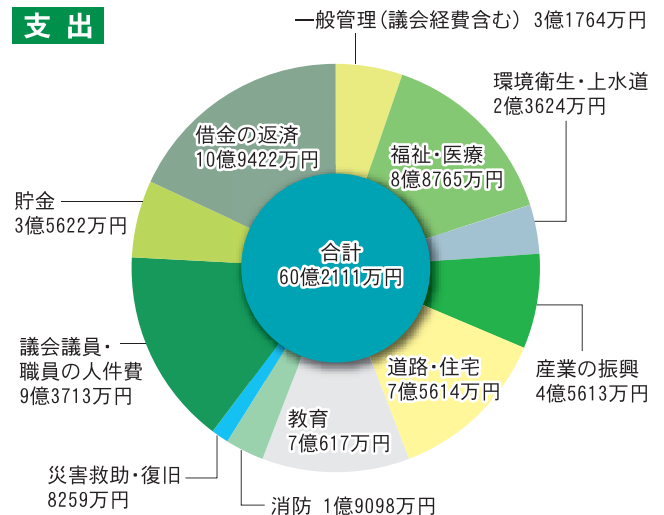
### 収入



### ポイント

自主財源は、まちが直接受けるお金です。  
 依存財源は、国や北海道から受けるお金や借金です。  
 自主財源の割合は17.2%となっており、大部分の収入を依存財源に頼っている状況です。

### 支出

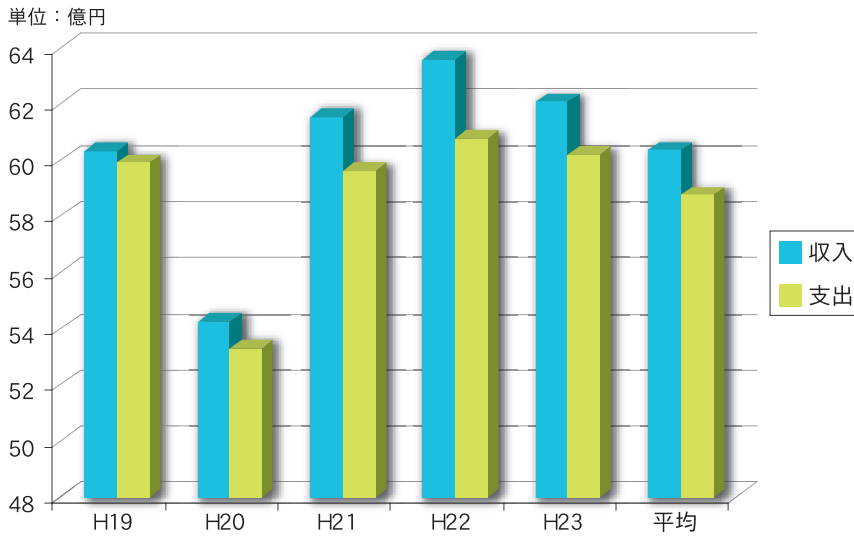


### ポイント

平年以上の大雪だった昨年の除雪経費は、平成22年度よりも5800万円増加しました。  
 小学校の耐震化改修に3億8000万円支出しました。  
 借金の返済に10億9422万円支出していますが、貯金も3億5622万円しています。

## 過去5年間の一般会計の収入と支出の推移

～毎年黒字を維持しています～



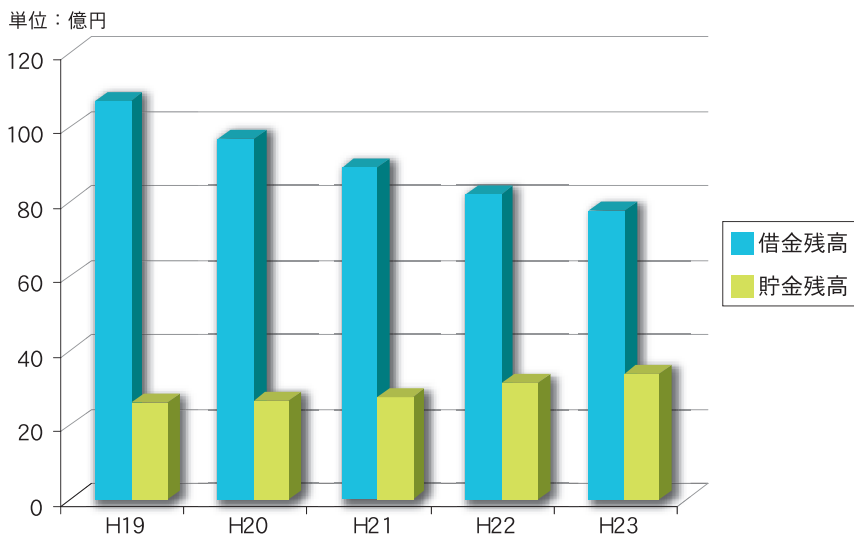
過去5年間の収入と支出の平均は、収入が約60億3000万円、支出が約58億7000万円となっており、1億6000万円ほどの黒字が発生しています。

多少の増減はありますが、新十津川町の一般会計は、おおむね60億円の規模で運営されています。



## 過去5年間の全会計の借金と貯金の推移

～借金は減り、貯金は増えています～



過去5年間で借金は29億5000万円減少し、貯金は7億8000万円増加しています。平成23年度末では、借金は77億6000万円、貯金は33億9000万円となっており、差し引きで借金が43億7000万円多くなっています。

この借金には、返済時に国から補てんされるものが含まれているので、実質の借金は、もっと少なくなります。



## 健全化判断比率と公営企業資金不足比率

～健全な財政運営ができています～

指標	健全化判断比率				資金不足比率
	実質赤字比率 <small>一般会計の赤字の大きさ</small>	連結実質赤字比率 <small>全会計通算の赤字の大きさ</small>	実質公債費比率 <small>負債の返済額の大きさ</small>	将来負担比率 <small>平成24年度以降支払わなければならない負債の大きさ</small>	
<b>早期健全化基準</b> <small>(右の水準を超えると黄信号)</small>	15%	20%	25%	350%	20%
<b>新十津川町の比率</b>	—	—	8.6%	—	—
<b>説明</b>	赤字はありません	赤字はありません	健全な水準です	借金残高を償還 財源が上回ります	赤字はありません

健全化判断比率と資金不足比率は、まちの財政状況が悪くないかを確認するための指標で、法律によって公表することが義務付けられています。新十津川町は、すべての会計で赤字はありません。負債の返済額の大きさは、北海道の市町村の中でも良い水準を保っています。また、将来支払わなければならない負債も無理なく返済できる大きさとなっています。